

第4回 富塚小学校運営協議会

令和6年1月31日

14:00~15:00

会議室

開会 開催要件（委員の過半数の出席）確認 <司会：教頭、記録：CSディレクター>

1 会長挨拶

2 校長挨拶

3 議長の選出 <出席した委員の互選>

4 前回会議録確認

5 熟議 <司会：議長>

(1) 学校関係者評価

令和5年度学校評価の結果と考察、改善案（教務）

（「いじめ防止等のための基本的な方針について」含む）

(2) 学校運営協議会の自己評価について（会長）

(3) 来年度の学校運営の基本方針の説明（校長）

(4) 夢育やらまいかCS加算分の報告（教頭）

6 報告 <司会：教頭、記録：CSディレクター>

・学校支援コーディネーターから

7 連絡

(1) 次年度第1回 令和6年4月18日（木）13:30~15:00 会場：会議室

(2) 会長・副会長の確認（継続）

閉会

第4回 富塚小学校運営協議会出席者名簿

学校運営協議会委員

会長	吉原 忍
副会長	鈴木 秀俊
委員	萩原 孝英
委員	小宮山 文博
委員	久保田 智彦
委員	鈴木 佐知
委員	笠原 大輔
委員	平出 裕美子
委員	水野 敦子 (学校支援コーディネーター)

オブザーバー

富塚協働センター	門奈 保典
地域代表	小楠 佳子

学校

校長	村松 一彦
教頭	鈴木 彰一
教務主任	江間 慎一郎
CSディレクター	新田 久美子

浜松市教育委員会

教育総務課	鈴木 陽子
-------	-------

浜松市立富塚小学校運営協議会 年間計画

令和5年4月1日～令和6年3月31日

※ 委員の過半数の出席がないと開催できません。

※ 感染症の感染拡大防止等、状況により、開催が中止、あるいは延期になる場合があります。

回	日時 会場	主な内容 熟議のテーマ 等	備考
1	令和5年 4月20日 木曜日 13:30～15:30 会議室	熟議テーマ (1)学校運営の基本方針について 説明 ⇒ 質疑・応答、熟議 ⇒ 承認 (2)いじめ防止等のための基本方針について (3)夢育やらまいかCS加算分についての意見書について (4)学校運営協議会の自己評価について	・授業参観
2	7月7日 金曜日 14:00～15:00 会議室	熟議テーマ (1)学校教育活動の取組について (2)学校評価のアンケートの項目の検討について (3)学校の抱える課題と改善策・支援策について	
3	11月22日 水曜日 14:00～15:00 会議室	熟議テーマ (1)登校時の見守り活動について (2)その他の学校の課題について	学校運営協議会の自己評価表 委員の意見収集⇒学校への提出 (12月8日まで)
4	令和6年 1月31日 水曜日 14:00～15:00 会議室	熟議テーマ (1)学校関係者評価について 学校の自己評価(結果、分析・考察、改善方策等)の 説明 ⇒ 改善方策について熟議(この結果を学校関係者評 価として提出)⇒協議会終了後、見直し⇒公表⇒次年度へ 反映 (2)学校運営協議会の自己評価 (3)来年度学校運営の基本方針の説明 (4)夢育やらまいかCS加算分の報告	

(様式1)

令和5年度 学校運営協議会自己評価表

浜松市立(富塚小) 学校運営協議会長

＜本年度の目標＞

学校運営協議会では子供たちや学校の問題点を明確に示してもらい、保護者や学校や地域がどんな協力をして解決していくか協議していきたい。そのために、教育活動の様子を自分の目で見て、今年度の協議会で具体的な意見を出せるようにしたい。

＜評価項目1＞ 学校運営の基本方針について熟議することができたか。

- ・学校から運営基本方針について説明を受け理解できた。また学校教育目標である「ともに輝く富塚の子の育成」についても理解できた。学校側が抱えている目標や問題などを共有できたことは良かった。
- ・校長から学校運営の基本方針について分かりやすい説明があり、理解することができた。タブレット学習について実際の進み具合の説明があり、熟議するにあたり、立場が違う様々な意見の交換ができた。

＜評価項目2＞ 承認した学校運営の基本方針に沿った、教育活動の充実につながる学校支援活動などについて熟議を進めることができたか。

- ・学校の教育目標と学校支援活動とのつながりを意識して、協議会で熟議をかさねることができた。登校時の見守り活動について熟議の中で具体策が出るなど一定の成果が出たが、もっと幅広く周知することが必要だと感じた。
- ・教育活動の充実につながる活動について熟議、理解できた。「相手の心を感じる」「振り返りながら考える」「目標を立てて行動する」など富塚小学校の目指す子供の姿に対してピアサポートやキャリア教育が進められているが、教職員の人数で対応できない部分を地域や保護者の見守り支援ボランティアの方で対応している。その方の探し方など各立場の方から意見をもらいながら熟議できた。

＜評価項目3＞ 協議会での協議結果について、十分な情報発信を行ったか。

- ・協議会の様子や内容を自治会理事会で説明することもあるが、問題や課題の解決に結びつくような十分な情報発信に至っていない。
- ・学習支援に来られるボランティアの方に直接口頭で発信をしたり、学期ごとに発行する「コミスクだより」にて情報を発信したりした。紙や文字で発信することも大事だが、直接伝えていくことが一番相手に伝わりやすい。ボランティアネットワークを広げていくことが大事だと認識した。

<評価項目4> 今年度の取組の評価を踏まえた来年度の目標（取組の重点）

- ・各委員の方の意見を伺った中で、各担当機関、団体がそれぞれの役割をさらに発信していく必要がある。また地域においても協議会の活動がより活発になるよう発信していく必要がある。
- ・子供たちや学校の問題点を保護者や学校や地域と協力できる体制になっている。今年度は教育活動の様子をたくさん見ることができ、協議も具体的になってきた。協議した内容の実施、結果までたどることが少なかったなので、来年度は「これができた」という明確なものがいくつもできるようにしたい。（特に現場の先生方と）